

インバウンド対策プロジェクト業務のホアンと申します。

南阿蘇村の良さを観光客だけでなく、世界中の人々にもお伝えし、末長くご縁を結びたいと思っています。

まずは私の出身地台湾の大学生を招き、農業と文化の交流をしました。

今回南阿蘇村に滞在した、台湾清華大学環境と文化資源学科の学生たちは7月14日～8月16日の1カ月、村でLong Stayをしました。宿泊先は村の民家で、農業体験はトマト、アスパラ、山芋、コメ、バラ農家。体験期間の昼ご飯は農家の奥様手作りの日本食でした。このような生活の形を学生たちは「極本場の日本生活」と言いました。

滞在期間中、農業体験だけではなく、日本生活に欠かせない日本語を勉強し、高森警察署で交通安全教室も行いました。また、梅干し作り体験や、長野岩戸神楽なども体験しました。

学生たちは環境保全の食文化を通じて、台湾名物「タピオカミルクティー手作り体験」を2回行い、台湾のレジ袋有料化の経緯や、外食のマイ箸、マイコップなどについて紹介しました。

8月14日の発表会では、村長、農家さま、ホームステイホスト、地元の人々約40人が参加され、村の人々とのふれあいはとても素晴らしい体験だったと思います。

この度、村の皆さまのご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後もさまざまな国際交流を作りたいと思います。



南阿蘇村農業インターンシップ体験実習感想

(原文のまま掲載します)

台湾清華大学環境と文化資源学科三年生

郭建宏、李珮慈、張右宣、陳奕浩、劉又瑄、嚴靖媛、盧昌明

南阿蘇村の皆様、お久しぶりです。

南阿蘇村の水源、温泉は自然環境全体、とても魅力的で、ここに泊まった1ヶ月間は、毎日南阿蘇村でシンプルな生活を楽しんだり、人と大自然のインタラクションを楽しんだりしています。

南阿蘇村の景色は私たちが今まで見た中で最も美しい景色です。田の中をゆっくり散歩したり、アフタヌーンティーを楽しんだり、トロコ列車に乗って途中の景色を楽しんだりできます。ここでは、南阿蘇が完璧なモデルなので、誰でもプロの写真家になれます。

山芋農園の後藤(芳男)様は「私たちは南阿蘇のシンプルさが好きです。自然が大好きです」と言いました。実は私たちも同じ感じでした。

農業体験は農産物を認識し、成長過程を理解したり、作物の細部を理解したり、私たちも農夫の苦勞を感じたり、いつも年中無休の仕事をしています。そして「農」はとても大切なことだと思います。

この1ヶ月は毎日を有意義に過ごせています、本当にありがとうございます。日本語はあまり上手ではないけれども、皆様に「謝謝(読み方:シェーシェー)ありがとうという意味」をいいたいです。南阿蘇村は私たちの心のふるさとだと思います。